



たのしい白岩小

郡山市立白岩小学校だより

令和5年度 第12号
令和5年12月22日(金)
文責：校長 佐藤 一彦



「表現する子ども」「協力し合う子ども」をめざし、活動します！

携帯サイトも
どうぞ！→

白岩小店がオープン！

20日(水)、1年生が「おみせやさん」を教室で開きました。国語の「ものの名まえ」の学習で行ったおみせやさんを実際に行い、ものの名前を覚えたり、代金の計算をしたり、そして接客について体験しました。当日は、全校児童が一気に買い物に訪れ、お店は大繁盛で、1年生は大忙しでした。全校児童が1年生の学習に楽しく参加することができるのも白岩小ならではのですね。



健康で安全な冬休みを！

19日(火)に「校外子ども会」が行われました。各登校班に分かれ、上学年の児童が中心となり、登校状況の反省と冬休みの過ごし方について話し合いが行われました。登校状況の反省では、「地域の方々に対してあいさつの声が小さい」という反省が出され、みんなでしっかりあいさつすることを約束しました。今後も学校全体で元気よく気持ちのよいあいさつ、礼儀の指導を継続していきますので、この冬休み、ご家庭でもあいさつの大切さについてお話しいただければと思います。また、「楽しい冬休みに」(ピンクの用紙)が配付されました。ご家庭でも内容を確認し、「冬休みのやくそく」を決め、記入をお願いします。



2学期も大変お世話になりました！

本日の終業式では、児童に以下の話をしました。

今日で2学期が終了です。暑すぎて外で活動できなかった8月から雪が降り始めた12月までの82日が経ちました。2学期も白岩小のみなさん一人ひとりよく頑張りましたね。特に校長先生が印象に残っているのは、2つです。1つ目は、学校の外に出ての宿泊活動、体験活動、見学活動において仲良く、元気よく活動し、それぞれのめあてを達成することができたことです。そして、学校の外でもあいさつや感謝のことばをしっかり言えたことは日頃の習慣だと思います。2つ目は、創立150周年記念白岩フェスティバルに向けたみなさんの取り組みです。1年生は初めてでしたが「大きなカブ白岩バージョン」をかわいらしく演技しました。また、最後の「1年生の歌」から元気ももらいました。2、3年生は、生活科や社会科で学習した白岩町のよさを劇で表現してくれました。発表から「白岩だいすき！」という気持ちが伝わってきました。校長先生も参加させてもらって嬉しかったです。4年生の「泣いた赤鬼」の演技には心が打たれました。「本当の友達とはどんな友達なのか」、「噂や思い込みで人を決めつけていいのか」などさまざまなことを考えさせられました。最後の手話を交えた「大切なもの」も素晴らしかったです。5、6年生の白岩小の歴史は、創立150周年にふさわしい発表でした。さすが上級生ということで歴史の発表の中に歌、合奏、そしてユーモアを交えて150年間を表現してくれました。保護者や地域の方々からは、「どの学年の発表も自信をもって堂々と発表していて素晴らしかった」などたくさんのお褒めの言葉をいただきました。白岩小の目指す「表現する子ども、協力し合う子ども」を達成することができました。みなさんが一生懸命がんばったことは必ずみなさんの成長につながります。これからもどんどんチャレンジしてできることを増やして下さい。

明日から17日間の冬休みがスタートです。校長先生との約束は1つです。それは規則正しい生活です。特に、あいさつをしっかり行いましょう。冬休みは様々な行事があり、たくさんの人にも会うことでしょう。その時期に合わせたあいさつをしっかり行いましょう。

冬休みも安全・健康に十分気をつけ、1月9日に全員そろって元気にあいさつしましょう



5、6年：磐梯青少年交流の家(9/7～8)



4年：郡山自然の家(9/20)



1、2、3年：石筵ふれあい牧場(9/29)